

コミュニティバス西まわり線 減便のお知らせ

現在、1日に11便が運行している「コミュニティバス西まわり線」が、10月1日(土)から1日2便に減便されます。詳しくは、名士バスのホームページや、バス停、バス内に掲示されているお知らせなどでご確認をお願いいたします。



▲名士バスホームページはこちら

10月1日(土)以降に運行する便は次の2便です。

コミュニティバス西まわり線

名寄駅前 **7時10分発** および **7時45分発**

※コミュニティバス西まわり線は

名寄駅前 ～ **市立大学前** ～ **児童センター入口** ～
市立病院前 ～ **名寄駅前** の順で停留します。

※減便後も東西まわり線は引き続き運行されます。



問い合わせ

総合政策課 (名寄庁舎3階)

☎ 01654③2111 (内線3313)

名士バス株式会社 (西4南10)

☎ 01654②4151

FAX 01654③6247



「世界の男女格差」日本は何位？ ～The Global Gender Gap Report 2022より～

2022年7月、世界経済フォーラムが、各国における男女格差の度合いを示す「ジェンダー・ギャップ指数2022」を発表しました。この指数は、経済・教育・健康・政治の4つの分野から成り立っています。さてこの世界ランキング、前回の日本の順位は156カ国中120位でしたが、今回の日本は何位でしょうか？

上位国および主な近隣国の順位

順位	国名
1位	 アイスランド
2位	 フィンランド
3位	 ノルウェー
99位	 韓国
102位	 中国
116位	 日本

問い合わせ

環境生活課男女共同参画担当(名寄庁舎1階)

☎01654③2111(内線3126)

✉ny-seikatsu1@city.nayoro.lg.jp

2022年の日本の順位は146カ国中116位となり、先進国では最低レベル、アジア諸国でも低い結果です。

各分野における順位は、教育分野：1位、健康分野：63位、**経済分野：121位**、**政治分野：139位**となっています。経済では「管理的職業従事者の男女比」、政治では「国会議員の男女比」「官僚の男女比」などが影響している状況です。

今回順位の低かった経済分野および政治分野について、国は今年6月に「女性版骨太の方針2022」において「女性の経済的自立」、「女性の登用目標達成」など、今後重点的に取り組むことを決定しています。

男女共同参画社会の実現のために、第2次名寄市男女共同参画推進計画においても、あらゆる分野における男女共同参画社会の推進を基本目標としております。市民のみならず、各種団体やさまざまな活動におかれましても、「男女共に参画しよう!」という心がけをお願いします。